

# 新上五島町まち・ひと・しごと創生総合戦略 事務事業評価シート

実施年度	平成28年度		
基本目標	1	しまにしごとをつくり、しまで安心して働けるようにする	
施策名	(イ)	地域の産業を支える人材と雇用の確保	
	1	しまの新産業創出と雇用の確保	
事業名	①	漁業就業者確保育成対策事業	
担当課名	水産課	所属長名	濱口友司
関係課名			

1. 事業の目的						
○本町の基幹産業である水産業の低迷に歯止めをかけるため、漁業活動を中心とした就業者の受入体制を整備し、後継者の確保を目的として、新規に漁業へ就業する見込みがある者に対し、地元漁業者の下で漁業研修を受け、漁業技術の習得と漁業への定着促進を図る。						
2. 事業の概要			3. 実施内容（取組状況）			
○技術習得支援事業 新たに漁業へ就業する見込みがある者に対し、地元漁業者から漁業研修を受けることで、漁業技術の習得と漁業への着業促進を図る。			○雇成型 2人 ○独立型 4人 ○内訳 補助金額5,183千円、謝礼金1,940千円 ○研修者に対する補助金等の内訳 ・月額：125,000円（生活費相当分） ・必要経費：1年間50,000円 ・指導者謝金：1年間900,000円			
	実績額	国費	県費	起債	その他	一般財源
事業費	7,135千円		3,560千円			3,575千円
4. 事業における成果			5. 事業における課題			
○漁業後継者の育成・定着に寄与した。			○漁業者の減少に歯止めがかからない。 ○新規就業者の生計を成り立たせるには、補助金額が少額であるため、生活が苦しい。			
6. 課題解決に向けての今後の取り組みについて						
○補助金額の見直し（雇成型の指導者謝金や研修者補助金の見直し）の検討や漁業を継続していけるだけの漁業所得の確保及び町外出身者があった場合の居宅の確保が必要である。						

担当課評価	<b>B</b>	○十分な補助金額ではないが、生活費等を助成することにより、漁業に就業希望がある者に対する支援策となっている。
委員評価	<b>B</b>	○2次評価のとおり

評価基準	A	KPI達成に非常に有効であり、このまま継続して事業を推進する。
	B	KPI達成に有効であり、継続して事業を推進する。
	C	KPI達成のために、要因の分析を要する。
	D	KPI達成のために、要因の分析と事業の見直しを要する。
	E	事業自体の抜本的見直しを要する。

# 新上五島町まち・ひと・しごと創生総合戦略 事務事業評価シート

実施年度	平成28年度		
基本目標	1	しまにしごとをつくり、しまで安心して働けるようにする	
施策名	(イ)	地域の産業を支える人材と雇用の確保	
	1	しまの新産業創出と雇用の確保	
事業名	②	ながさき森林づくり担い手対策事業	
担当課名	農林課	所属長名	堤 田 勝
関係課名			

1. 事業の目的						
○林業の担い手を確保するとともに、林業者の経営の安定を図る。						
2. 事業の概要			3. 実施内容（取組状況）			
○林業者に対して、福利厚生費（社会保険）の助成を行う。			○林業組織の育成をするため、林業従事者（担い手）の社会保険等の負担を助成した。 ・五島森林組合上五島支所 13名			
	実績額	国費	県費	起債	その他	一般財源
事業費	5,145千円		2,572千円			2,573千円
4. 事業における成果			5. 事業における課題			
○前年度から2名の増がなされ、担い手の確保がなされた。			○技術をもった対象者数名が高齢化しているため退職後の担い手不足が生じる恐れがある。			
6. 課題解決に向けての今後の取り組みについて						
○新規の担い手は、林業技術取得に数年を要するため、早期の雇用と技術取得が必要である。						

担当課評価	<b>B</b>	○増員がなされてはいるが、今後も林業における担い手の雇用創出の助成に努めたい。
委員評価	<b>B</b>	○2次評価のとおり

評価基準	A	KPI達成に非常に有効であり、このまま継続して事業を推進する。
	B	KPI達成に有効であり、継続して事業を推進する。
	C	KPI達成のために、要因の分析を要する。
	D	KPI達成のために、要因の分析と事業の見直しを要する。
	E	事業自体の抜本的見直しを要する。

# 新上五島町まち・ひと・しごと創生総合戦略 事務事業評価シート

実施年度	平成28年度		
基本目標	1	しまにしごとをつくり、しまで安心して働けるようにする	
施策名	(イ)	地域の産業を支える人材と雇用の確保	
	1	しまの新産業創出と雇用の確保	
事業名	③	若者新規就労支援事業【新規】	
担当課名	総合政策課	所属長名	小柳哲也
関係課名			

1. 事業の目的						
○若者の減少が著しい中、町内での就労を積極的に推進し、若者を呼び込み活気あるまちづくりを推進することを目的とする。						
2. 事業の概要			3. 実施内容（取組状況）			
○受給資格登録申請日において40歳未満の者で、町内の事業所等に新規就労し、通算36月以上の就労実績がある者に対し、奨励金10万円を支給する。			○制度要綱を平成28年4月1日に施行し、町内世帯回覧及び町公式サイトにて支援制度の内容を周知した。 ○島内の高校生が就職した事業所へ制度の案内を送付した。			
	実績額	国費	県費	起債	その他	一般財源
事業費	0千円					0千円
4. 事業における成果			5. 事業における課題			
○平成28年度奨励金受給資格登録者数：18名 ・10代：男4名、女3名、計7名 ・20代：男5名、女3名、計8名 ・30代：男2名、女1名、計3名 ・合計：男11名、女7名、計18名			○町内事業所等をはじめ、住民への制度の周知を図っていく必要がある。			
6. 課題解決に向けての今後の取り組みについて						
○現在は、奨励金の受給資格登録のみであり、広報紙や町ホームページなど定期的な制度の周知に努める。						

担当課評価	<b>B</b>	○若者が町内事業所等に新規就労するきっかけの一つとなるよう定期的な周知を行っていく必要があるため事業を継続する。
委員評価	<b>B</b>	○町内に就職し、島に残っていただいた新卒者等の激励会の開催を実現してほしい。また、若者のIターン・Uターン者の歓迎会等を企画してほしい。

評価基準	A	KPI達成に非常に有効であり、このまま継続して事業を推進する。
	B	KPI達成に有効であり、継続して事業を推進する。
	C	KPI達成のために、要因の分析を要する。
	D	KPI達成のために、要因の分析と事業の見直しを要する。
	E	事業自体の抜本的見直しを要する。

# 新上五島町まち・ひと・しごと創生総合戦略 事務事業評価シート

実施年度	平成28年度		
基本目標	1	しまにしごとをつくり、しまで安心して働けるようにする	
施策名	(イ)	地域の産業を支える人材と雇用の確保	
	1	しまの新産業創出と雇用の確保	
事業名	④	海洋観光による雇用創出事業【新規】	
担当課名	観光商工課	所属長名	安永佳秀
関係課名	水産課		

1. 事業の目的						
○漁業及び漁村をはじめ、新上五島町の地域振興と産業の活性化に資するため、上五島の豊かな海を活かし、観光商工分野と漁業との連携を強め、漁業と併せて、遊漁、海洋レクリエーション、漁業体験など、「海業」を効果的かつ総合的に推進することを目的とする。						
2. 事業の概要			3. 実施内容（取組状況）			
○観光商工分野と漁業との連携を図るための協議会の立ち上げ ○生簀を利用した水族館事業 ○マリンアクティビティを活用した体験滞在型プログラムの開発・運営等			○地域協議会立ち上げに向け、関係機関との事前打ち合わせに取り組み、関係者による部会の立ち上げに取り組んだ。			
	実績額	国費	県費	起債	その他	一般財源
事業費	0千円					0千円
4. 事業における成果			5. 事業における課題			
○一部の関係機関ではあるが事前打ち合わせを行い、事業推進のための専門部会の立ち上げを行った。			○平成28年度中に地域住民や関係者への説明会を行う予定であったが、一部関係機関のみとなり全ての関係機関と事前調整を行うことができなかった。			
6. 課題解決に向けての今後の取組みについて						
○平成29年度中に関係者や地域への説明会を実施するとともに、事業内容の精査を行い事業実施に向け積極的な活動を行っていく。						

担当課評価	<b>B</b>	○関係機関との事前調整において、多少の遅れがあるものの、ほぼ目標どおりに進捗しており継続して事業を進捗する。
委員評価	<b>B</b>	○2次評価のとおり

評価基準	A	KPI達成に非常に有効であり、このまま継続して事業を推進する。
	B	KPI達成に有効であり、継続して事業を推進する。
	C	KPI達成のために、要因の分析を要する。
	D	KPI達成のために、要因の分析と事業の見直しを要する。
	E	事業自体の抜本的見直しを要する。

# 新上五島町まち・ひと・しごと創生総合戦略 事務事業評価シート

実施年度	平成28年度		
基本目標	1	しまにしごとをつくり、しまで安心して働けるようにする	
施策名	(イ)	地域の産業を支える人材と雇用の確保	
	1	しまの新産業創出と雇用の確保	
事業名	⑤	医師確保対策特別補助事業（臨床研修医支度助成金支給）	
担当課名	健康保険課	所属長名	荒木 宣 貴
関係課名			

1. 事業の目的						
○長崎県病院企業団が管理運営する長崎県上五島病院に医師臨床研修制度により勤務し、臨床研修をしようとする医師に対し、臨床研修医支度助成金を支給することにより、新上五島町における医師の確保を図り、もって医療サービスの向上に資することを目的とする。						
2. 事業の概要			3. 実施内容（取組状況）			
○臨床研修医の赴任時の必要経費等助成 ・1名30万円を上限			○平成28年度は1名の研修医に対し支給したものの、研修途中で本人自己都合により退職したため、全額返還した。			
	実績額	国費	県費	起債	その他	一般財源
事業費	0千円					0千円
4. 事業における成果			5. 事業における課題			
○平成28年度は実績はないものの、離島である本町の医師確保に繋がっている。			○この事業は、離島の医療機関で臨床研修をし、離島医療に関心を持っていただいた後に、本町の正規職員になっていただくことを目的としている所もある。それを考えると、最終的な医師確保には一歩届いていない状況である。			
6. 課題解決に向けての今後の取り組みについて						
○今後も継続して、この事業は実施していくべきと考えるが、その後の正規医師雇用をどのように展開していくかが課題だと考える。新規事業の創出も視野にいれ検討しなければならないと考える。						

担当課評価	<b>B</b>	○平成28年度は結果実績なしとなったが、平成29年度は1名の研修が行われており、今後も事業を継続していくことが、離島医療医師確保に繋がるものとする。
委員評価	<b>B</b>	○2次評価のとおり

評価基準	A	KPI達成に非常に有効であり、このまま継続して事業を推進する。
	B	KPI達成に有効であり、継続して事業を推進する。
	C	KPI達成のために、要因の分析を要する。
	D	KPI達成のために、要因の分析と事業の見直しを要する。
	E	事業自体の抜本的見直しを要する。

# 新上五島町まち・ひと・しごと創生総合戦略 事務事業評価シート

実施年度	平成28年度		
基本目標	1	しまにしごとをつくり、しまで安心して働けるようにする	
施策名	(イ)	地域の産業を支える人材と雇用の確保	
	1	しまの新産業創出と雇用の確保	
事業名	⑥	産業サポートセンター事業【新規】	
担当課名	総合政策課	所属長名	小柳哲也
関係課名	産業サポートセンター		

<b>1. 事業の目的</b>						
○関係機関と連携し、就職、就漁（農）などの支援、相談及び移住定住に関する相談窓口を新設し、創業数の増や生産額の増、雇用者の増等につなげる。						
<b>2. 事業の概要</b>				<b>3. 実施内容（取組状況）</b>		
○安定的な雇用の創出等のため町内の事業所等の実態を把握し、不足している支援等に向けた対策の構築を目指す。 ○起業家教育や新商品開発などに対し、専門家による営業戦略やスキルアップに向けたアドバイスの機会を設け、雇用拡大や産業強化につなげる。 ○町内の空き家等の情報をとりまとめて定住希望者等に情報を提供するとともに移住相談や支援を行う。				○平成28年度相談支援業務受付件数：273件 ○平成28年度相談事業者数：104事業者 ○セミナーの開催：4回開催、参加者68名 ○f-Biz出張サポート事業：4回開催 ○「Sima-Bizレポート」を毎月、広報紙に掲載		
	実績額	国費	県費	起債	その他	一般財源
事業費	25,875千円					25,875千円
<b>4. 事業における成果</b>				<b>5. 事業における課題</b>		
○セミナー開催や各種相談により、事業者等の意識向上が図られている。 ○販路拡大支援：リンゴパン、椿関連商品 ○新商品開発支援：豆乳おからドーナツ、あこう守りクッキー、豊を使った小物				○事業者相談案件について、どのような課題があり、どのような支援、アドバイスを行ったのか、また、事業者の弱みを克服し、強みを活かし、どのように売上アップを図っていくのかなど、事業者ごとに整理する必要がある。		
<b>6. 課題解決に向けての今後の取り組みについて</b>						
○事業者相談案件について、どのような課題があり、どのような支援、アドバイスを行ったのか、また、事業者の弱みを克服し、強みを活かし、どのように売上アップを図っていくのかなど、事業者ごとに整理することにより、今後、不足している支援策について検討していく。						

担当課評価	<b>A</b>	○相談事業者等へのフォローアップ体制の強化など、より多くの事業者等に、より使い勝手がよく、成果を出せる産業サポートセンターを目指すことが必要であるため、今後も事業を継続すべきである。
委員評価	<b>A</b>	○空き家情報が不足しているため空き家調査を積極的に行うべきではないか。また、町民の意見を幅広く聞き、どうしたら空き家を提供していただけるか協議すべき。

評価基準	A	KPI達成に非常に有効であり、このまま継続して事業を推進する。
	B	KPI達成に有効であり、継続して事業を推進する。
	C	KPI達成のために、要因の分析を要する。
	D	KPI達成のために、要因の分析と事業の見直しを要する。
	E	事業自体の抜本的見直しを要する。

# 新上五島町まち・ひと・しごと創生総合戦略 事務事業評価シート

実施年度	平成28年度		
基本目標	1	しまにしごとをつくり、しまで安心して働けるようにする	
施策名	(イ)	地域の産業を支える人材と雇用の確保	
	1	しまの新産業創出と雇用の確保	
事業名	⑦	創業支援奨励事業【新規】	
担当課名	観光商工課	所属長名	安永佳秀
関係課名			

1. 事業の目的						
○人口減少が進行し、地域経済が停滞する本町において、創業時の初期投資や人材研修は事業発展に大きく影響することから、その初期投資費用などの一部を支援することにより、より多くの雇用の場の創出と地域経済の活性化につなげる。						
2. 事業の概要			3. 実施内容（取組状況）			
○申請年度内に新規雇用又は雇用創出が見込まれる新規創業等を行う者に対し、補助金を交付する。 ①初期投資費用等の一部 ②新規雇用奨励金 ③創業時人材育成費用の一部 ④特産品開発費用の一部を支援			○地元産の農水産物（地産地消）を活用した弁当販売等に取り組む新たな創業を支援（2件）した。 ①地元の食材を活用した弁当・惣菜を販売する事業者。（交付額：2,550千円） ②飲食店がなかった中ノ浦教会付近で、自家農園の野菜と新鮮な魚を使用した弁当等を販売する事業者。（交付額：3,000千円）			
	実績額	国費	県費	起債	その他	一般財源
事業費	5,600千円	2,775千円				2,825千円
4. 事業における成果			5. 事業における課題			
○新たな創業を支援することにより、雇用初出（6名のパート雇用）が生まれている。			○さらなる事業拡大に向けてサポートが必要である。			
6. 課題解決に向けての今後の取り組みについて						
○創業後の事業拡大に向けてもサポートが必要であると考え。そのための支援制度の構築が必要である。						

担当課評価	A	○雇用機会が不足している本町の現状を踏まえ、創業支援や事業拡大による更なる雇用創出の支援に取り組んでいく必要があることから、今後も事業を継続すべきである。
委員評価	A	○正規職員として雇用できるレベルになるまで支援する制度を検討していただきたい。 ○町内に就職し、島に残っていただいた新卒者等の激励会や交流の場を県と一緒に開催してほしい。

評価基準	A	KPI達成に非常に有効であり、このまま継続して事業を推進する。
	B	KPI達成に有効であり、継続して事業を推進する。
	C	KPI達成のために、要因の分析を要する。
	D	KPI達成のために、要因の分析と事業の見直しを要する。
	E	事業自体の抜本的見直しを要する。